

宮城県救急搬送情報共有システムについて

1 運用開始日

平成31年4月23日（火）午後1時から

2 システム概要

(1) 概要

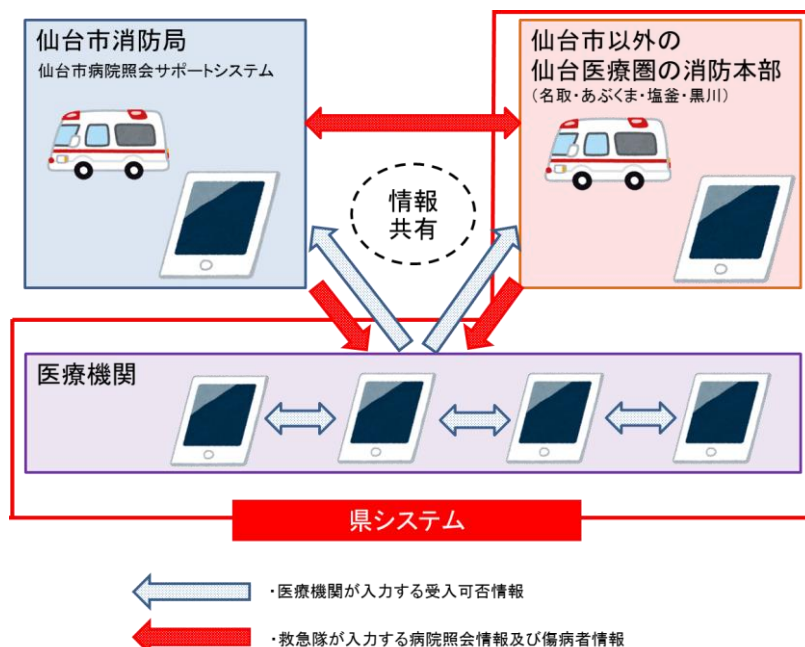
- ・救急隊が随時入力する病院照会情報及び傷病者情報と、医療機関が入力する受入可否情報の一覧化により、救急隊の搬送先選定を効率化
- ・同様の機能からなるシステム（病院照会サポートシステム）を既に導入している、仙台市消防局と連携
- ・スマートフォン及びタブレット端末の導入による情報入力のリアルタイム化を図るとともに、端末の操作性を活かした簡易な入力方法により、多忙な現場での使用に配慮

(2) 対象地域 仙台医療圏

(3) 参画機関

- 消防本部 名取市消防本部、あぶくま消防本部、塩釜地区消防事務組合、黒川地域行政事務組合消防本部、（仙台市消防局（システム連携））
- 医療機関 23医療機関（仙台市消防局システム参画医療機関を含めると27医療機関）

3 システム連携イメージ図



4 一覧画面イメージ図

A病院		B病院	
内科	◎	救急科	◎
外科	△	外科	◎
整形外科	× 医師不在	脳神経	△ 手術中
脳神経	△ 手術中	内科	◎
循環器	◎	産婦人科	一時受入不可
小児科	一時受入不可	循環器	◎
入力日時	2019-04-19 15:12	入力日時	2019-04-19 16:03

医療機関が入力する受入可否情報  
 ◎：受入可  
 △：条件付受入可  
 ×：受入不可

当番	内科・循環器	当番	外科
収容可	名取救急1 14:53-14:54 17歳 M 外科	収容可	名取救急2 15:42-15:45 54歳 M 外科
処置困難	名取救急2 15:36-15:40 54歳 M 外科	収容可	黒川救急 16:20-16:22 38歳 F 循環器
収容可	塩釜救急 1 16:12-16:14 25歳 F 内科		

救急隊が入力する病院照会情報及び傷病者情報  
 緑：軽症  
 黄色：中等症  
 赤：重症

○搬送先選定の判断事例について

（事例）【時刻：16：35 科目：外科 傷病程度：重症】が発生

- ①A病院は、外科の受入が△（条件付受入可）になっている。ただし、約1時間前に他の救急隊が外科で重症の事案の照会を行っており、「処置困難」との理由で受け入れには至っていない。
- ②B病院は、外科で重症の事案を15:42の照会電話で受け入れている。加えて、16:03に受入可否情報を更新し◎（受入可）のままである。
- ③救急隊は、A病院へ受入照会するよりB病院へ受入照会した方が、搬送先が決定する可能性が高いと判断しB病院へ電話する。

5 実績（令和元年度）

○支障情報別病院照会件数（システム対応病院（27医療機関））

	収容可	その他	受入可計			
件数	58,329	386	58,715			
	応答なし	ベッド満床	専門外	医師不在	手術中	処置困難
件数	1,486	1,986	2,883	410	752	5,778
割合	5.6%	7.5%	10.9%	1.5%	2.8%	21.8%
	理由不明	その他	患者対応中	初診	転送	受入不可計
件数	137	5,319	7,533	84	113	26,481
割合	0.5%	20.1%	28.4%	0.3%	0.4%	100.0%

※上表は、本システムに事案登録された件数を集計したもので、消防本部が消防庁に報告する統計データとは異なります。